

「ふくすいき

令和3年6月号

～福水企～」通信



企業団キャラクター
ビュータくん

この「ふくすいき～福水企～」通信は、福岡地区水道企業団、各構成団体などの情報交換のために毎月発行しています。

発行：福岡地区水道企業団 総務課
福岡市南区清水四丁目 3-1
TEL 092-552-1731(代)

第63回 水道週間 [令和3年6月1日(火)～6月7日(月)] 水道週間スローガン「生活も ウイルス予防も 蛇口から」

■ 企業団・構成団体の動き

●福岡地区水道企業団議会議員（筑紫地区・福岡地区）の退任・就任

第2区（筑紫地区）から選出されていた江頭 大助 議員（春日那珂川水道企業団前議長、那珂川市議会副議長）が、令和3年3月31日付で企業団議会議員を任期満了となり、後任として推薦された金堂 清之 議員（春日那珂川水道企業団議会議長、春日市議会議員）が、同年4月26日付で企業団議会議員に就任されました。



金堂 清之 議員



平畑 雅博 議員

また、第1区（福岡地区）から選出されていた伊藤 嘉人 議員（福岡市議会議員）が、令和3年5月31日付で辞職され、後任として推薦された平畑 雅博 議員（福岡市議会議員）が、同年6月1日付で同じく企業団議会議員に就任されました。

<主査（議会・監査等担当） 一ノ瀬>

●採水実務研修会【開催しました】[4/27(火)・28(水) 水質センター]



実習の様子

当企業団水質センターにおいて、構成団体水質検査の採水担当者の方を対象にした採水実務研修会を開催しました。今年度はコロナ禍での開催となり、マスク着用・手指消毒・検温・換気にご協力いただくとともに、10団体29名の参加者の皆さまを2日に分けての研修となりました。採水は決して簡単な業務ではありません。容器は検査項目によって異なっており、種類は19種にも及びます。また、採水容器によって、

満水にするものやしないもの、共洗い（採水する水ですすぐ）するものやしないもの等、採水方法が異なっています。その他にも、採水には気を付けていただくことが多く、参加者の皆さまは、大変熱心に研修に参加してくださいました。



全項目検査の採水容器(12種類)

正確な結果を得るためには正しい採水が欠かせません。採水担当者の皆さまにはご苦勞をおかけしますがどうぞよろしくお願いいたします。
＜水質センター 中岡＞

●第63回水道週間の取り組みについて〔6/1(火)～6/7(月)〕

水道週間は、厚生労働省、地方公共団体の水道事業体等によって実施される様々な広報活動等の運動を通して、国民に対して、水道の現状や課題について理解を深め、今後の水道事業の取り組みについて協力を得ることを目的として、毎年6月1日～6月7日に実施されています。

今回も昨年に引き続き、コロナ禍での水道週間となりましたが、各構成団体では、下記写真をはじめ様々な取り組みが行われました。

当企業団が各構成団体に配付した、「3月のライオン」のポスターやポケットティッシュも活用いただきました。

新型コロナウイルスの影響により、当企業団では、予定していた水道週間の啓発イベントが中止となり、小学校での出前講座も秋以降に延期となりましたが、来年こそは、多くの人が笑顔で集えるような水道週間を迎えることを願っています。
＜総務課 中川＞



Twitter での特集 (福岡市)



地下鉄構内デジタルサイネージ
などでの広報 (福岡市)



懸垂幕 (糸島市)



ポスター掲示
(宗像地区事務組合ほか)



啓発グッズ配布
(春日那珂川水道企業団ほか)



パネル展示 (太宰府市)

■ ダムいっとう！

このコーナーでは、主に福岡地区水道企業団や構成団体の水源となっているダムを探訪して、担当者からお話をうかがい、その特色や魅力に迫ります。

今回は、福岡県から緊急事態宣言が出されたことから、担当者からお話を伺うダム訪問は自粛し、江戸時代につくられた、ダムの前身ともいえる筑後川四堰の一つ、山田堰取材しました。

山田堰の右岸には、山田堰をモデルにアフガニスタンで農業用水路を建設し、砂漠を農地に変えた故中村哲^{なかもら}氏の記念碑が立てられています。



山田堰



目的	農業用水
所在地	朝倉市山田
河川名	筑後川水系筑後川
型式	傾斜堰床式右張堰
利水者	山田堰土地改良区
管理者	山田堰土地改良区
完成年	1790年

山田堰のあらまし

山田堰は、江戸時代に干ばつで苦しむ農民たちを救おうと、筑後川右岸の耕地を水田化するために設けられた井堰です。原型が造られたのは1663年、現在の形となったのは1790年です。その後、幾度も大洪水に見舞われますが、現在も当時の形を留めています。

山田堰から取られた水は、約652haの農地を潤しています。筑後川の水圧と激流に耐える精巧かつ堅牢な構造を持つ井堰は、「傾斜堰床式石張堰」と呼ばれ、川の流れに対し斜めに造られている国内で唯一の施設です。



南舟通し、中舟通し、砂利吐きの3つの部分に区分されており、取水量を増やし、激流と水圧に耐

えるため、3つの構造的特徴があります。

(1) 堰の前壁を水流に対し斜めに配置し、筑後川の激しい水圧を緩和する。

(2) 取水口へ水流が勢いよく行かないよう、最も水の抵抗が強い南舟通し水路側の石積みが高く、緩やかな勾配をつけている。堰の石畳は、水量が増加した際に跳水を起こし、水勢を弱める機能も持つ。

(3) 水流を、堰の末端部で合流させて減勢する。

江戸時代から原形を留めているこの優れた技術は、日本から遠く離れたアフガニスタンでもモデルとされ、多くの農地に水を供給しています。2014年には、「世界かんがい施設遺産」に登録されました。

故中村哲氏と山田堰

故中村哲氏は、1946年に福岡市に生まれました。九州大学医学部を卒業後、国内病院勤務ののち、1984年に日本キリスト教海外医療協力会（JOCS）から派遣されてパキスタン北西辺境州の州都ペシャワールに赴任。パキスタン・アフガニスタン地域で医療活動に従事しました。

医療活動に携わる中で、多くの病気や貧困の原因が水不足にあったことから「百の診療所より一本の用水路」を合言葉に現地スタッフと用水路作りを開始。

用水路の取水堰建設が難航し、方法を模索する中で、中村氏は現存する全国唯一の「傾斜堰床式石張堰」である山田堰にたどり着きました。



中村氏は何度も山田堰を視察し研究を重ね、2010年に7年の歳月をかけて全長25.5kmのマルワリード用水路を完成。現在では1万6500haの荒野を農地に変え、アフガニスタンの復興支援の灌漑用水モデルとして活用されています。

悲しいことに中村氏は令和元年12月にアフガニスタンで凶弾に倒れ、国内外の多くの人々がその死を悼みました。

令和3年2月、朝倉市の山田堰を見渡せる展望広場に中村氏の功績を称える記念碑が立てられました。

二つの石碑には、中村氏が詠んだ句「濁流に^{よぐや}沃野 夢見る河童かな」と、座右の銘だった「照一隅」という言葉が刻まれています。
〈総務課 中川〉

水源情報

企業団ホームページの「水源情報」は、毎日（土日祝を除く。）最新情報に更新しています。

福水企

検索

アドレスをクリックすると、
「水源情報」が載っています
ので、見てね！！



・企業団ホームページ「水源情報」アドレス

<http://www.f-suiki.or.jp/waterquality-info/water-info/>



編集後記

福岡では、コロナウイルスまん延防止のため、3度目の緊急事態宣言が出されており、6月20日まで延長されました。このため、6月4日に予定されていた江川水源祭は中止となりました。

私も外出の自粛疲れはあるものの、自宅ではもっぱら読書や音楽鑑賞などで過ごしています。高齢者へのワクチン接種が始まりましたが、私への接種は、もう少し先になりそうです。

3月号で筑後川をモチーフとした「水神」(すいじん はきはぎほうせい 帯木蓬生 著)を紹介しましたが、今回は、同じ作者の「天に星、地に花」を紹介します。「水神」の続きといってもいい本と思います。

大石堰ができてから約60年後、久留米藩に2度の農民一揆が起りました。いずれも、年貢の増徴と夫役、飢饉に苦しむ百姓が怒り、やむを得ずに起こしたものです。享保十三年(1728年)の最初の一揆は、「天に星、地に花、人に慈愛」を実践し、百姓に対して「天下の御百姓」と言った藩の家老の尽力によりいったん収まりますが、宝暦4年の一揆(1754年)は、全藩規模の一揆となり多くの犠牲者が出ました。

物語は、この時代に大庄屋の次男として生まれ、疱瘡(ほうそう)にかかって一命をとりとめた少年が、医師を志し、努力して、医師として一本立ちする姿を描くとともに、百姓の辛苦や武士の情け、生活を描いた感動的な小説です。

どこまでが、史実に基づくものかわかりませんが、大石堰の五庄屋の話も少し出てきますし、この時代の人々の生活・風俗や地面に這いつくばって生きる百姓の思いのなどの描写は、丁寧で分かりやすく、愛情にあふれています。また、話し言葉は、筑後弁で書かれており、朝倉市出身の私にはとっても心地よく読むことができました。

5月26日のスーパームーン皆既月食は、雨のため全く見えませんでした。ライトな天文ファンの私としては、非常に残念です。

九州北部地方は平年よりも20日早く5月15日に梅雨入りしたとの気象庁発表がありました。梅雨の期間が少し長くなるとの予想もありますが、ここ数年、九州地方では、豪雨により大きな被害が発生しており、今年は、適度の雨が降るように切に祈っています。

<田>

★ 構成団体の皆さまからの情報をお待ちしています！！

「ふくすいき～福水企～」通信では、今後も構成団体の皆さまの声や意見を掲載していきたいと思っています。

皆さまの周りでも、お知らせしたいことや紹介したい取り組み、イベント情報、また感想、ご意見などありましたら、ぜひ、ご連絡ください！！

よろしくお願いします。

たくさんの情報提供を
お待ちしております！！



～ 情報を提供していただく場合 ～

掲載希望前月の末日までに、原稿を下記へメール送信してください
福岡地区水道企業団総務課交流広報係 kouhou@f-suiki.or.jp

福岡地区水道企業団では、企業団ホームページや SNS（Twitter、Facebook ページ）を通じて、企業団が行う事業や取り組み、水源地域や流域で行われるイベント等をわかりやすくタイムリーに情報発信しています。

ホームページの記事や SNS で発信した情報について、面白い、役に立ったなどと思われた方は、ぜひ、SNS の機能（リツイートやシェアなど）を使って、多くの方に情報を届けていただければ幸いです。

福岡地区水道企業団 H P

<http://www.f-suiki.or.jp/>

福水企

検索



福岡地区水道企業団 Twitter

福岡地区水道企業団



福岡地区水道企業団 Facebook ページ

福岡地区水道企業団



福岡地区水道企業団 YouTube ページ

YouTube JP

福岡地区水道企業団

